

■分科会

C.: コメンテーター、Co.: コーディネーター

分科会：タイトル	趣 旨（内容）	問題提起者等
第1分科会 女性の経済的エンパワーメントと経済分野への参画機会の拡大 ～働く場づくりと就業継続 再就職支援～	働く女性の大きな課題である非正規労働・均等待遇の問題、またNPOなどによるソーシャルビジネスの創出、新しい働き方や働く場づくりについて実践報告を基に話し合いを深めます。	井出あゆみ（浜松男女共同参画推進協会理事長） 岸俊子（ペーカリーカフェ・「風」経営） 奥田祐子（北京 JAC 中部/ワーキング・ウーマン） C: 居城舜子（女性労働問題研究会代表） C: 佐藤和枝（株式会社・クリエイション代表取締役） Co: 佐藤成子（世界女性会議ネットワーク静岡理事）
第2分科会 私のライフコースと 税と年金 ～「税と年金 リテラシー」の力を つけるために～	専業主婦、シングルマザー、ひとり世帯など、ライフコースの選択で大きく変わる税制と年金制度リテラシー（読み解く力）を高めることが目的です。 税と年金を自分の人生と照らし合わせ、マップを作りながら生き方の選択ができる税制・年金のあり方を考える、楽しくわかりやすい参加型です。	大矢さよ子（社会保険労務士） 田嶋清子（株式会社レ・サンク代表） Co: 船橋邦子（北京 JAC 共同代表）
第3分科会 日常（くらし）から 政治を問う	私たちの理想や活動を政策に反映させるには女性議員は少なすぎます。民主主義の名に相応しい男女平等の政治参画を拒むものは何か、それを乗り越えるための方策を考えます。	須田 和（尼崎市議） 横井美由紀（富士市議） 鈴木 恵（前浜松市議） 犬塚協太（静岡県立大学国際関係学部教授） C: 石田久仁子（北京 JAC 世話人） Co: 松本玲子（あざれあ交流会議理事）
第4分科会 働くことと生活の 両立をはかるために ～地域の子育て政策～	子どもたちがすこやかに成長する権利と働く両親のため、どのような政府・自治体の支援政策が必要とされるのでしょうか。また、その問題点は何でしょうか。地域での保育の現状を見つめながら考えます。	静岡市職員（「おひさま」待機児童保育園） 下位桂子（放課後児童館講師） C: 清水澄子（北京 JAC 共同代表） Co: 鈴木克義（常葉学園短期大学教授）
第5分科会 高齢者が安心して 暮らせる まちづくりをめざして	地域の中で高齢者が安心して暮らせるまちは、子どもも障害を持つ人も認知症の人もすべての人が安心して暮らせるまち。そのまちづくりを可能にするために、市民として、自治体と協働しつつ何ができるかを考えましょう。	稲葉ゆりこ（たすけあい遠州代表理事） 鈴木明与（WAC 清水さわやかサービス理事長） 北京 JAC・新潟 C: 三隅佳子（北京 JAC 世話人） Co: 石田友子（富士市「2人3脚」代表）
第6分科会 男女共同参画推進の ための条件整備	国の第3次男女共同参画基本計画において、推進体制の強化があげられています。女性センターが、社会状況や地域課題に対応し「男女共同参画社会の実現に向けた活動拠点」として、その役割をはたしているかを問い直します。	田端八重子（もりおか女性センター センター長） 氏家義男（クレオ大阪 元企画課長） 萩原綾子（静岡県男女共同参画課 課長） C: 橋本ヒロ子 （国連女性の地位委員会日本政府代表） Co: 松下光恵（男女共同参画フォーラムしずおか理事）
第7分科会 災害・復興とジェンダー	災害と女性の人権・男女共同参画の視点から災害とジェンダーの関係を考えます。災害時に脆弱性の高い人々も視野に入れた、私たちにとっての避難所マニュアルや防災・復興計画などを、ワークショップを組み込みながら検討します。	宗片恵美子（NPO 法人イーネット仙台代表理事） 藤原玲子（原発震災を防ぐ全国署名連絡会） 浅野幸子（早稲田大学非常勤講師） C: 池田恵子（静岡大学教育学部教授） Co: 柳のまえ知子（北京 JAC 事務局長）

セミナー会場

静岡県男女共同参画センター あざれあ

〒422-8023 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

TEL: 054-250-8147 FAX: 054-251-5085

Eメール: beijing@azarea.pref.shizuoka.jp

ホームページは [あざれあ](#) [検索](#) で



JR静岡駅北口から国道1号線沿いに西へ徒歩9分（公共交通機関をご利用ください。）